

第 115 回日本養豚学会大会プログラム

研究発表 1 題 講演 12 分
討論 3 分

11 月 4 日

9:20 開会・挨拶

佐賀県畜産試験場 場長 加茂辰生 大会委員長
祐森誠司 会長

9:40 一般研究発表

1. (9:40) 還元系発色試薬を用いたブタ精液の評価法の開発 1
○内倉健造・田島茂行・山本るみ子・豊島浩一
(愛知県農総試)
2. (10:00) ブタ膠様物を用いた精子長期低温保存方法の検討 2
○中村嘉之・瀧沢慶太
(埼玉県農研)
3. (10:20) 希釈保存液の違いが宅配便で輸送されたブタ液状精子の精子活力
および体外受精成績に与える影響 3
○三角浩司¹・江川紗智子²・大西 彰¹
(¹日大生物資源, ²家改セ)
4. (10:40) 免疫学的去勢がバークシャー種肥育豚の発育および
枝肉に及ぼす影響 4
○寺本真理子¹・村松蓮太¹・浦川啓介²・石田孝史¹・家入誠二¹・徳永忠昭¹
(¹宮崎大農, ²キリシマドリームファーム)
5. (11:00) 福島県産飼料による飼料自給率の向上と豚肉生産技術の確立
—酒粕, 白酒ヌカ及び醤油粕のペレットの給与が肥育豚に及ぼす影響—
..... 5
○青山勝也・佐藤 東・佐藤尚史・原 恵
(福島県畜研)
6. (11:20) 植物発酵物 (FBP) 給与による離乳期子豚の抗生物質代替効果 6
○水津拓三¹・鳥居英人¹・岸田晋輔¹・川瀬貴博²・祐森誠司³
(¹万田発酵, ²栄養・病理学研, ³静岡農専大)

11:40～13:15 昼食

12:20～13:15 理事会

13:15～16:00 公開シンポジウム

「養豚現場における豚肉の高付加価値化について」

13:15 挨拶 加茂辰生 場長

13:20～14:10 基調講演

1. 「豚肉の高付加価値化に必要な官能評価技術について」

(農研機構 畜産研究部門 食肉用家畜研究領域 食肉品質グループ)

佐々木啓介

14:10～15:10 試験研究機関、生産現場における取組について

2. 「佐賀県における養豚研究の取組について」

(佐賀県畜産試験場 中小家畜部) 大曲秀明

3. 「JA さがにおける生産性向上の取り組みについて」

(JA さが 飼料課) 中野志穂

4. 「農場 HACCP 認証による高付加価値化、6次化について」

((有) 永渕ファームリンク) 永渕政春

15:10～15:30 企業における取組について

5. 「ニチレイフレッシュにおける豚肉の高付加価値化について」

((株) ニチレイフレッシュ 畜産事業部) 松原夏月

15:40～16:00 総合討論

16:00 閉会・挨拶 (副会長)